

# 欧州自動車産業ニュース

No. 965

2025年1月31日号

## コンチテック、ドイツ拠点を再編 5工場閉鎖、2拠点で業務縮小・生産移管

中国自動車大手とBMW、EV追加関税巡りEUを提訴

現代自、欧州の試験・研究開発(R&D)施設を增強

トヨタと仏2社、新しい水素充填システムの開発で協力

© European Community

\* PDFファイルでご覧の方は左のパレットの「しおり」を開き、見たいタイトルを選択して下さい。

■注意■

1. 本誌の使用は、お申込み登録いただいた住所の事業所内及びE-Mailアドレスに限り、他への配布・回覧・転送を固く禁じます。
2. 本誌のご利用によって生じたトラブル・損失・損害に関し、当社は一切の責任を負いません。

FBC Business Consulting GmbH August-Schanz-Str.8, 60433 Frankfurt/M. (Germany)  
Tel : 069-5480950, Fax : 069-54809525, E-mail : fbc@fbc.de, <http://www.fbc.de>

Rechtsform: GmbH Sitz: Frankfurt am Main HRB 44664 Geschäftsführer: Susumu Fujita

## 総合

中国自動車大手とBMW、EV追加関税巡りEUを提訴.....	4
欧州商用車販売、バンは2024年通期に8.3%増加.....	4

## 企業情報

### 自動車メーカー

現代自、欧州の試験・研究開発(R&D)施設を増強.....	10
英ボックスホールが個人リースプラン「PCH」を発表、月額269ポンドから.....	10
英JLRが特注色の生産能力を倍増、需要急増に対応.....	11
セアト、2025年も電動化への取り組みを継続.....	12
伊フィアット、24年は4カ国の市場で首位に.....	12

### 部品メーカー

コンチテック、ドイツの複数工場を閉鎖.....	13
スイスの自動車部品大手オートニウム、24年は4.2%の増収.....	13

## クローズアップ

DznaviL.....	14
--------------	----

## 欧州自動車短信

トヨタ、シンビオ.....	15
---------------	----

## 一般・その他

NXHDの独物流企業買収、EUが承認 .....	16
EUが中国をWTOに提訴、ハイテク特許の不当使用で .....	16
EUとマレーシア、FTA交渉再開で合意 .....	17
仏など7カ国の財政健全化計画、EU財務相理が承認 .....	17

## テクノロジー・トレンド

トヨタと仏2社、新しい水素充填システムの開発で協力 .....	18
---------------------------------	----

## 目で見る欧州自動車産業ニュース

欧州商用車販売、2024年1～12月：燃料別 .....	19～21
------------------------------	-------

## 企業名索引.....20

欧州経済を伝える



FBCでは、読者の皆様と一緒に誌面作りに取り組みたいと考えております。  
お気づきの点や率直なご意見・ご感想など、弊社カスタマーサポートまで  
ぜひお気軽にお寄せください。

< FBCカスタマーサポート >

Tel : +49-(0)69-5480950      Email: [info@fbc.de](mailto:info@fbc.de)

FBC Business Consulting GmbH  
August-Schanz-Str.8, 60433 Frankfurt/M/Germany

<http://www.fbc.de>

## 総合

### 中国自動車大手とBMW、EV 追加関税巡り EU を提訴

中国の自動車大手が、欧州連合（EU）による中国製電気自動車（EV）への関税引き上げに反発し、EU 司法裁判所の一般裁判所（下級審に相当）に相次いで提訴した。EU 内のメーカーでも、中国で EV を生産する独 BMW が提訴に踏み切った。

一般裁判所が1月23日にウェブサイトで公表したところによると、提訴した中国メーカーは上海汽車集団、比亞迪（BYD）、吉利汽車の3社。提訴期限の1日前である21日に訴状を提出した。

EUは中国で生産されるEVが不当な公的補助を受け、安値でEVをEUに輸出して域内の事業者を圧迫しているとして、昨年10月に追加関税を課した。中国の主要メーカーの関税上乘せ幅は、上海汽車集団が35.3%。従来の10%と合わせて45.3%となる。比亞迪（BYD）は17%、吉利汽車は18.8%。

追加関税は反補助金調査への協力度、中国政府から受けている補助金など優遇措置の度合いによって決まる。調査に非協力的なメーカーが最大35.3%。協力的な場合は20.7%となる。

提訴した中国メーカーは、米テスラが中国から最も多くのEVを輸出しているにもかかわらず、特別扱い受け、補助金が他のメーカーより少ないとして特別扱いされ、全メーカーで最低の7.8%となった点も含め、EUの措置を不当としている。

EUの関税引き上げは、中国でEVを生産し、EUに輸出する域内メーカーにも適用される。中国で製造する「ミニ・クーパー」「ミニ・エースマン」に20.7%の追加関税をかけられたBMWは、21日に一般裁に提訴した。

さらに、22日には中国の業界団体「中国機械電機類輸出入商工会（CCCME）」も、EV業界を代表して一般裁に提訴した。

EUによる中国製EVの関税引き上げをめぐるのは、中国政府が昨年8月、世界貿易機関（WTO）のルールに反する不当な措置として、EUをWTOに提訴していた。

<AI22536>

### 欧州商用車販売、バンは2024年通期に8.3%増加

欧州自動車工業会（ACEA）は1月28日、欧州連合（EU）における2024年通期の商用車新車登録台数を発表した。これによると、バン（小型商用車）は、前年比8.3%増の158万6,688台と好調だった。主要4カ国全てで販売が伸びた。特に、スペイン（13.7%増）が好調で、ドイツ（8.4%増）、フランス（1.1%増）、イタリア（0.9%増）も前年を上回った。

トラック（中・大型合計）は、前年比6.3%減の32万7,896台だった。中型トラックは、前年比5.6%増の5万8,944台と、前年を上回ったものの、大型トラックが前年比8.5%減の26万8,952台と低迷した。

バスは、前年比9.2%増の3万5,579台だった。主要国では、ドイツ（2.0%減）は前年をやや下回ったが、イタリア（26.7%増）とスペイン（10.3%）が2ケタの増加率と好調で、フランス（2.2%増）も前年を上回った。

（5～9頁の表参照、  
燃料別のグラフは【目で見る欧州自動車産業ニュース】19～21頁に掲載）

### 欧州商用車新車登録、小型商用車 (3.5トン以下)

国	1～12月		前年同期比 伸び率(%)
	2024年	2023年	
オーストリア	33,075	30,701	7.7
ベルギー	65,780	67,549	-2.6
ブルガリア	6,794	5,192	30.9
クロアチア	8,495	7,463	13.8
キプロス	2,248	1,766	27.3
チェコ	21,761	22,735	-4.3
デンマーク	28,053	25,746	9.0
エストニア	4,080	3,904	4.5
フィンランド	9,735	11,021	-11.7
フランス	379,747	375,510	1.1
ドイツ	281,078	259,376	8.4
ギリシャ	9,872	10,008	-1.4
ハンガリー	24,782	20,749	19.4
アイルランド	30,785	28,854	6.7
イタリア	198,517	196,732	0.9
ラトビア	2,737	2,699	1.4
リトアニア	2,893	3,104	-6.8
ルクセンブルク	3,997	5,412	-26.1
マルタ	889	814	9.2
オランダ	129,878	69,294	87.4
ポーランド	66,853	64,522	3.6
ポルトガル	32,304	28,523	13.3
ルーマニア	20,212	17,235	17.3
スロバキア	9,061	9,107	-0.5
スロベニア	8,577	7,686	11.6
スペイン	166,157	146,144	13.7
スウェーデン	38,328	43,713	-12.3
<b>欧州合計</b>	<b>1,586,688</b>	<b>1,465,559</b>	<b>8.3</b>
アイスランド	1,870	1,972	-5.2
ノルウェー	28,459	29,573	-3.8
スイス	30,741	30,570	0.6
EFTA	<b>61,070</b>	<b>62,115</b>	<b>-1.7</b>
英国	354,265	344,845	2.7
EU+EFTA+UK	<b>2,002,023</b>	<b>1,872,519</b>	<b>6.9</b>

出所: 欧州自動車工業会

欧州商用車新車登録、中型トラック  
(3.5トン超～16トン未満)

国	1～12月		前年同期比 伸び率(%)
	2024年	2023年	
オーストリア	—	—	—
ベルギー	1,408	1,240	13.5
ブルガリア	—	—	—
クロアチア	365	297	22.9
キプロス	94	83	13.3
チェコ	—	—	—
デンマーク	630	529	19.1
エストニア	60	33	81.8
フィンランド	745	1,056	-29.5
フランス	8,064	8,531	-5.5
ドイツ	28,027	25,838	8.5
ギリシャ	204	301	-32.2
ハンガリー	372	518	-28.2
アイルランド	475	379	25.3
イタリア	4,959	4,719	5.1
ラトビア	84	70	20.0
リトアニア	141	94	50.0
ルクセンブルク	135	115	17.4
マルタ	—	—	—
オランダ	2,754	2,039	35.1
ポーランド	3,505	3,694	-5.1
ポルトガル	843	755	11.7
ルーマニア	0	0	—
スロバキア	334	411	-18.7
スロベニア	132	144	-8.3
スペイン	5,052	4,434	13.9
スウェーデン	561	562	-0.2
<b>欧州合計</b>	<b>58,944</b>	<b>55,842</b>	<b>5.6</b>
アイスランド	96	125	-23.2
ノルウェー	1,349	1,659	-18.7
スイス	963	752	28.1
EFTA	<b>2,408</b>	<b>2,536</b>	<b>-5.0</b>
英国	14,017	11,904	17.8
<b>EU+EFTA+UK</b>	<b>75,369</b>	<b>70,282</b>	<b>7.2</b>

出所：欧州自動車工業会

### 欧州商用車新車登録、大型トラック (16トン以上)

国	1～12月		前年同期比 伸び率(%)
	2024年	2023年	
オーストリア	7,970	8,008	-0.5
ベルギー	7,872	8,818	-10.7
ブルガリア	—	—	—
クロアチア	1,683	1,751	-3.9
キプロス	87	76	14.5
チェコ	9,172	10,408	-11.9
デンマーク	4,190	4,444	-5.7
エストニア	585	839	-30.3
フィンランド	2,689	2,886	-6.8
フランス	42,571	43,612	-2.4
ドイツ	60,213	68,982	-12.7
ギリシャ	676	425	59.1
ハンガリー	4,909	5,841	-16.0
アイルランド	2,390	2,276	5.0
イタリア	23,739	24,170	-1.8
ラトビア	1,159	1,798	-35.5
リトアニア	6,852	10,568	-35.2
ルクセンブルク	946	1,717	-44.9
マルタ	—	—	—
オランダ	15,820	14,097	12.2
ポーランド	24,538	31,788	-22.8
ポルトガル	5,538	6,160	-10.1
ルーマニア	7,955	8,497	-6.4
スロバキア	3,078	3,528	-12.8
スロベニア	2,001	2,385	-16.1
スペイン	27,088	24,254	11.7
スウェーデン	5,231	6,622	-21.0
<b>欧州合計</b>	<b>268,952</b>	<b>293,950</b>	<b>-8.5</b>
アイスランド	290	297	-2.4
ノルウェー	4,788	4,818	-0.6
スイス	4,021	3,730	7.8
EFTA	<b>9,099</b>	<b>8,845</b>	2.9
英国	38,857	42,112	-7.7
<b>EU+EFTA+UK</b>	<b>316,908</b>	<b>344,907</b>	<b>-8.1</b>

出所: 欧州自動車工業会

## 欧州商用車新車登録、中・大型トラック合計

国	1～12月		前年同期比 伸び率(%)
	2024年	2023年	
オーストリア	7,970	8,008	-0.5
ベルギー	9,280	10,058	-7.7
ブルガリア	—	—	—
クロアチア	2,048	2,048	0.0
キプロス	181	159	13.8
チェコ	9,172	10,408	-11.9
デンマーク	4,820	4,973	-3.1
エストニア	645	872	-26.0
フィンランド	3,434	3,942	-12.9
フランス	50,635	52,143	-2.9
ドイツ	88,240	94,820	-6.9
ギリシャ	880	726	21.2
ハンガリー	5,281	6,359	-17.0
アイルランド	2,865	2,655	7.9
イタリア	28,698	28,889	-0.7
ラトビア	1,243	1,868	-33.5
リトアニア	6,993	10,662	-34.4
ルクセンブルク	1,081	1,832	-41.0
マルタ	—	—	—
オランダ	18,574	16,136	15.1
ポーランド	28,043	35,482	-21.0
ポルトガル	6,381	6,915	-7.7
ルーマニア	7,955	8,497	-6.4
スロバキア	3,412	3,939	-13.4
スロベニア	2,133	2,529	-15.7
スペイン	32,140	28,688	12.0
スウェーデン	5,792	7,184	-19.4
<b>欧州合計</b>	<b>327,896</b>	<b>349,792</b>	<b>-6.3</b>
アイスランド	386	422	-8.5
ノルウェー	6,137	6,477	-5.2
スイス	4,984	4,482	11.2
EFTA	<b>11,507</b>	<b>11,381</b>	<b>1.1</b>
英国	52,874	54,016	-2.1
EU+EFTA+UK	<b>392,277</b>	<b>415,189</b>	<b>-5.5</b>

出所：欧州自動車工業会

### 欧州商用車新車登録、バス (3.5トン超)

国	1~12月		前年同期比 伸び率(%)
	2024年	2023年	
オーストリア	1,018	1,165	-12.6
ベルギー	843	732	15.2
ブルガリア	—	—	—
クロアチア	197	118	66.9
キプロス	102	252	-59.5
チェコ	1,331	1,080	23.2
デンマーク	506	388	30.4
エストニア	180	148	21.6
フィンランド	561	249	125.3
フランス	6,258	6,125	2.2
ドイツ	5,382	5,493	-2.0
ギリシャ	874	252	246.8
ハンガリー	416	820	-49.3
アイルランド	576	339	69.9
イタリア	6,594	5,205	26.7
ラトビア	353	177	99.4
リトアニア	269	270	-0.4
ルクセンブルク	318	247	28.7
マルタ	—	—	—
オランダ	888	393	126.0
ポーランド	2,301	1,821	26.4
ポルトガル	850	984	-13.6
ルーマニア	486	600	-19.0
スロバキア	252	793	-68.2
スロベニア	182	131	38.9
スペイン	4,059	3,679	10.3
スウェーデン	783	1,118	-30.0
<b>欧州合計</b>	<b>35,579</b>	<b>32,579</b>	<b>9.2</b>
アイスランド	197	143	37.8
ノルウェー	858	1,032	-16.9
スイス	576	676	-14.8
EFTA	<b>1,631</b>	<b>1,851</b>	-11.9
英国	8,657	5,523	56.7
<b>EU+EFTA+UK</b>	<b>45,867</b>	<b>39,953</b>	<b>14.8</b>

出所: 欧州自動車工業会

&lt;AI22537&gt;

## 企業情報

### ■自動車メーカー■

#### 現代自、欧州の試験・研究開発(R & D)施設を増強

韓国の現代自動車グループは1月24日、欧州の試験設備や研究開発(R & D)を増強すると発表した。ドイツのニュルブルクリンクにある試験センターを拡張したほか、2025年3月には、ドイツのリュッセルスハイムにある技術センターにスクエアキャンパスと呼ばれる新しいR & D施設を開設する。

ニュルブルクリンクにある試験センターには、面積834平方メートルのテスト施設が加わった。同施設には、新しいワークショップエリア、実験設備、高電圧電気自動車の充電機能などがある。これにより、将来の電気自動車や従来のエンジン技術、高性能車の試験・開発能力を強化する。

ドイツのリュッセルスハイムにあるヒュンダイ・モーター・ヨーロッパの技術センターでは、3月に面積2万5,000平方メートルの新しいR & D施設を開設する予定。当該施設には、四輪の騒音・振動・ハーシュネス(NVH)ダイナモメーター、シャーシおよびパワートレインのダイナモメーターなどがあり、路上試験を行わずに、さまざまな条件下での車両性能をシミュレートおよび評価することができる。このR & D施設は、電気自動車(EV)、先進運転支援システム(ADAS)、インフォテインメント、電動化技術の改善に重点を置く予定。これらの機能は特に、欧州市場の変化する顧客ニーズに対応したソリューションを提供することを目的としている。

<AI22538>

#### 英ボックスホールが個人リースプラン「PCH」を発表、月額269ポンドから

欧州自動車大手ステランティス傘下の英ボックスホールは1月21日、新しい個人リースプラン「パーソナル・コントラクト・ハイア(PCH)」の導入を発表した。対象モデルは限定されるものの、利用料金は月額269ポンドからと低く抑えられている。契約期間は通常4年で、電気自動車(EV)は5年となる。

PCHの月額料金を対象モデルごとにみると、「コルサ YES エディション」が269ポンド、「アストラ・グリフィン」の特別仕様車が329ポンド、「グランドランド・ハイブリッドGS」が435ポンド、「フロンテラ・ハイブリッドGS」が385ポンド。いずれも月額料金と同額の初期費用が発生する。

EVでは「フロンテラ・エレクトリックGS」が349ポンド(初期費用同額)。ファイナンスサービスであるPCPを利用した場合は2,000ポンドの頭金で月額料金が324ポンドに下がる。

PCHにはボックスホールのEV向けサービス「エレクトリック・オールイン・パッケージ」が付帯されており、ユーザーは8年間のロードサイド・アシスタンス、走行距離1万マイル(1万6,093キロメートル)までの無料自宅充電などのサービスを受けられる。

ボックスホールはフロンテラ・エレクトリックGSを投入したことで、すべてのモデルにEVを設定するという目標を達成した。

<AI22539>

## 英 JLR が特注色の生産能力を倍増、需要急増に対応

英高級車メーカーのジャガーランドローバー（JLR）は1月27日、英国と欧州における特注色の需要拡大に対応するため塗装施設を拡張すると発表した。国内とスロバキアの拠点に新しい施設を開設し、特注色の生産能力を2倍以上引き上げる。これにより年間で1万7,000件以上の追加注文に対応できるようになるほか、最高級ランクの塗装色を様々なブランドでも使えるようになる。総投資額は6,500万ポンド。拡張と同時に、二酸化炭素（CO2）排出量が最も多い塗装工程における環境負荷の低減も図る。

新施設は英キャッスル・ブロムウィッチ工場とスロバキアのニトラ工場に設置する。英工場には2,600万ポンドを投じ、既存の塗装設備を一新。新技術によりエネルギーと水の使用量を削減するほか、従来の手作業に比べて塗料の無駄を30%減らせる塗装ロボットも導入して環境への負荷を減らす。年内の設備稼働を予定する。

ニトラ工場には1,000万ポンドを投じる。完全電動の塗装ブースや電動硬化オーブンを設置し、年間で約500トンのCO2を削減する。新しい塗装ラインからは2026年に最初の車両がロールアウトされる予定だ。

JLRによると、「レンジローバー」と「レンジローバー・スポーツ」の両方で、数百種類の特注塗装や高級カラーパレットから選べる特注色オプションの需要は2022年から2倍以上に拡大している。特注色の塗装料金は通常、車両販売価格に平均で7万ポンドが上乗せされる。



出所: Jaguar Land Rover

<AI22540>

### — 競業企業の動向を定期的にウォッチします —

キーワードに沿って情報を「**クリッピング**」し

日本語に抄訳してご提供します

料金は月々1,000~3,000ユーロから



## セアト、2025年も電動化への取り組みを継続

独フォルクスワーゲン（VW）傘下のスペイン自動車大手セアトは1月24日、電動化への取り組みを強化・継続する方針を明らかにした。2025年の目標として、拠点施設における電動車用充電スタンドの設置拡大や、自家消費用の太陽光発電の稼働、従業員への電動車利用の奨励などを進めていく。

セアトは1-3月期（第1四半期）中に、マルトレル本社工場とバルセロナ近郊のエル・プラット電気自動車（EV）部品工場に合わせて128基の充電スタンドを新設し、設置数を合計で250基以上に倍増する。スタンド数は今後数カ月でさらに増える予定で、国内の充電網と比べて電動車1台当たりのスタンド数はほぼ5倍となる。

充電網で供給される再生可能エネルギー由来の電力に加え、敷地内の太陽光発電施設で発電した電力も活用する。太陽光パネルの設置数は順次拡大していく。また、マルトレル工場周辺の駐車場における充電スタンドも今年中に3倍の140基に増やす。同スタンドは一般にも開放する。

従業員に対しては「電動化アンバサダー」としての役割を担うよう、電動車の利用を推奨する。450人以上いる経営陣はすでに全員がEVを運転しており、年間8,000トン以上の二酸化炭素（CO2）削減効果が見込まれている。

マルトレル工場では2026年から、高性能ブランド「クプラ」の完全電動クロスオーバーモデル「ラヴァル（Raval）」と、VWの完全電気自動車（BEV）「ID.2」の本格生産を開始することを計画している。

<AI22541>

## 伊フィアット、24年は4カ国の市場で首位に

欧州自動車大手ステランティス傘下の伊フィアットは1月21日、2024年はブラジル、イタリア、トルコ、アルジェリアの4カ国で市場シェアのトップを占めたと発表した。全世界のフィアット販売はステランティスグループで最多の120万台以上に上った。

4カ国を国別にみると、ブラジルは販売台数が52万1,000台以上で、市場シェアは20.9%に上った。最も多く売れたモデルはピックアップトラックの「フィアット・ストラーダ」だった。

イタリアの販売が19万台以上で、シェアは10.8%。最多モデルは乗用車が「パンダ」、商用車は「デュカート」だった。完全電気自動車（BEV）の商用車モデルは同分野の市場シェアで16.9%を占めた。

トルコではシェアで11.2%を確保し、6年連続の首位だった。乗用車「エゲア」（「ティーポ」のトルコ名）が8万4,000台で最多だった。商用車市場では「ドブロ」がけん引して20%のシェアを確保した。

アルジェリアでは6万4,000台以上を販売し、シェアは62%。最も多く売れたのは商用車モデル「ドブロ」の2万7,000台だった。

フィアットは今年、上期に新型コンパクトSUV「グランデ・パンダ」のBEVモデルとハイブリッド（HV）モデル、年末には新型「500」のHVモデルの発売を予定している。

<AI22542>

## ■部品メーカー

### コンチテック、ドイツの複数工場を閉鎖

独自動車部品大手のコンチネンタルは1月30日、ゴム・プラスチック子会社であるコンチテックがドイツ拠点の構造を見直し、複数工場を閉鎖するほか、生産移管を実施すると発表した。従業員約580人が影響を受ける。市場変化に対応した措置で、特に、欧州の自動車産業と褐炭採掘需要の変化に対応する。対象となる拠点の従業員には同日、計画を通知した。今後、従業員の代表と協議を進めていく。

具体的には、バート・ブランケンブルク（テューリンゲン州）、シュトルツェナウ（ニーダーザクセン州）、モールス（ノルトライン・ヴェストファーレン州）、フローブルクおよびガイタイン（ザクセン州）の5工場を閉鎖する。バート・ブランケンブルク工場では褐炭採掘用のコンベアベルトを生産しているが、欧州では褐炭火力発電所の廃止が進み、需要が南米に集中している。コンチテックの拠点がすでにブラジルにあることから、同工場の閉鎖を決定した。

ハノーバー・ファーレンヴァルトでは、コンチネンタルの自動車部門の分離計画の一環として、自動車用エアスプリング部品の生産を2026年上半期に終了し、生産ラインをチェコのイチーン工場に移管する。また、ハンブルクでは、コンチテックから独立した組織となる自動車分野のオリジナル部品ソリューション（OESL）事業を縮小するほか、プロトタイプ製造やテストなどの業務をドイツのハン・ミュンデンに移管する予定。

コンチテックは世界37カ国に従業員約3万9,000人を抱えており、このうちドイツの22拠点到約1万1,000人が勤務している。

<AI22543>

### スイスの自動車部品大手オートニウム、24年は4.2%の増収

スイスの自動車部品大手オートニウムが1月23日発表した2024年通期（1－12月）の暫定売上高は23億9,850万スイスフランとなり、前年に比べ4.2%増加した。主力市場の北米がけん引した。売上高営業利益率は5%超、フリーキャッシュフローは1億スイスフラン超となる見込み。

売上高を地域別にみると、欧州は9.8%増の11億5,240万スイスフランに拡大した。北米は1.3%の増加。23年に買収したボルガース・オートモーティブの業績が貢献した。南米・中東・アフリカはインフレ調整により11.3%増の1億2,140万スイスフランの増収を確保した。アジアは15.3%減の1億9,830万スイスフランと振るわなかった。

同社は最終決算を3月12日の年次報告会で発表する予定。

<AI22544>



## DznaviL

ドイツのケンプテン応用科学大学の研究機関であるパワーエレクトロニクス研究所 (ILE) がこのほど開始した、自動車の非接触式 (ワイヤレス) 充電に関する研究プロジェクト。走行中に充電することができる技術を2つの用途シナリオで実証試験する計画。

実施期間は2027年11月まで。独バイエルン州経済・地域開発・エネルギー省が助成プログラム「電気システム (Elsys)」を通して、当該プロジェクトに43万6,000ユーロを資金支援している。

電気自動車は、公共の近距離交通や配送業務、産業用倉庫や空港における無人車両などに活用されているケースがある。当該プロジェクトでは、このような用途に導入されている電気自動車が走行中にワイヤレス充電することができる技術の開発に取り組む。

具体的には、異なる電池タイプと電圧レベルで作動する2つのアプリケーションシナリオについて実証試験を実施する計画。

1つは、低電圧電池を搭載した地域の近距離公共交通機関向けの電動自動運転シャトルのワイヤレス充電を試験する。2つ目は、低電圧または高電圧バッテリーを搭載した産業用商用車について、走行中の充電と停止した状態での充電を試験する。

プロジェクトチームは、当該技術の将来の商用展開を視野に入れ、両方のユースケースのシステムを可能な限り同一の設計とし、コスト面で魅力的なソリューションの開発を目指す。

プロジェクトパートナーは、パワーエレクトロニクス用途に重点を置いた販売・エンジニアリング会社の Finepower。関連パートナーとして、ドイツ鉄道 (DB) 子会社の DB Regio、特殊車両メーカーの Goldhofer が参加している。

経済活動に大きく影響する  
EUの政策動向をお伝えしています



欧州経済ウォッチャーを読んで  
今のEUを知ろう



## 欧州自動車短信

■ トヨタのドイツ法人は、独アーヘン工科大学(RWTH)と協力し、新しいマーケティング・コンセプトを開発する取り組み「トヨタ・チャレンジ」を実施している。経営学および産業工学を専攻する修士課程の学生を対象とする講座で1学期を通して、学生18人が4チームに分かれ、「パーソナライズされたコミュニケーション」および「電子商取引(Eコマース)」の分野で、学術的根拠に基づいたマーケティングのアイデアを開発した。各チームは、トヨタのマーケティング戦略などについて説明を受けた後、将来のマーケティング・コンセプトを開発し、RWTHやトヨタの関係者による審査員に成果を発表した。RWTHとトヨタは引き続き、協力関係を継続していく方針を示している。

■ 仏燃料電池システムメーカーのシンピオは1月28日、仏サン・フォンにある同社の燃料電池システムのギガファクトリー「SymphonHy」が、自動車産業に特化した品質マネジメントシステムに関する国際規格「IATF 16949」の認証を取得したと発表した。燃料電池技術の分野では欧州初、世界では2番目の取得になるという。「SymphonHy」の開設からちょうど1年後の2024年12月に適合証明を受け取った。

<AI22545>

### FBCのロングリスト調査は



- ① 貴社の案件に合う対象企業をヨーロッパ全土から探します
- ② 全ての企業に貴社のプレゼン資料を送付
- ③ その後メール・電話で興味の有無を1件1件確認します

新たな**ビジネスパートナー**を探します

### FBCのショートリスト調査は



- ① ロングリスト調査の結果、興味・関心を示した企業の担当者を割り出します
- ② 当該企業の主な取引先や競合他社などのデータも入手します
- ③ ショートリストとして提出します

このデータをもとに**即営業を開始**できます

## 一般・その他

### NXHD の独物流企業買収、EU が承認

欧州委員会は1月21日、日本通運を傘下に持つ NIPPON EXPRESS ホールディングス (NXHD) がドイツの物流企業サイモン・ヘーゲルを買収する計画を承認したと発表した。

サイモン・ヘーゲルは大型精密医療機器の輸送など、ヘルスケア産業向けサービスに強みを持つコントラクト・ロジスティクス事業者。NXHD は2024年10月、同社の全株式を取得することで合意したと発表していた。買収額は非公表。

欧州委はEU域内での「両社を合わせた市場ポジションが限定的」なため、同買収に競争上の問題はないとして、簡易審査で承認した。

<AI22546>

### EU が中国を WTO に提訴、ハイテク特許の不当使用で

欧州委員会は1月20日、中国が欧州連合 (EU) のハイテク企業が持つ特許を不当に安い使用料で利用しているとして、世界貿易機関 (WTO) に提訴したと発表した。

欧州委が問題視しているのは、EU の標準必須特許 (SEP) のロイヤルティ料 (使用料) 率。SEP はある標準規格に必須となる知的財産権だ。

欧州委は中国政府が国内の裁判所に SEP 使用料率を特許保持者の同意を得ないまま、世界的規模で設定する権限を与え、中国企業が EU の通信分野を中心とするハイテク企業が持つ特許技術を安値で利用していると主張。貿易に関する知的財産権を保護するための国際的なルールを定めた「知的所有権の貿易関連の側面に関する協定 (TRIPS 協定)」に違反しているとして、提訴に踏み切った。

WTO のルールでは、当事国・地域は紛争処理の第1段階として当事者間協議を行い、60日以内に解決できなければ WTO の紛争処理小委員会 (パネル) で本格的に争うことになる。

EU が特許問題を巡って中国を WTO 提訴するのは、今回が初めてではない。EU は22年、中国最高人民法院が外国訴訟差止命令を出し、SEP に関する訴訟を EU 企業など特許権者が中国国外の裁判所で起こすことを禁止したのを不当とし、WTO に提訴した。欧州委によると、同案件では WTO のパネルが今年1~3月に裁定を下す見通しだ。

<AI22547>

## 必要な情報を収集します

### 30年間で培った「600件以上の調査実績」

### 各種調査はFBCにお任せください



## EUとマレーシア、FTA交渉再開で合意

欧州委員会は1月20日、欧州連合（EU）とマレーシアが自由貿易協定（FTA）締結に向けた交渉を再開することで合意したと発表した。同交渉は15年前に開始されたが、マレーシアのパーム油輸出をめぐる問題が障害となり、2012年から凍結状態にあった。

交渉再開は、マレーシアのアンワル首相がブリュッセルのEU本部を訪問し、欧州委員会のフォンデアライエン委員長と会談した際に決まった。

EUにとってマレーシアは、東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国の中で3番目の貿易相手。23年の物品の貿易額は450億ユーロ（約7兆2000億円）相当だった。

双方は2010年にFTA交渉を開始した。しかし、EU側がマレーシアの主要な輸出品目であるパーム油について、パームヤシ栽培が森林破壊を招いているとして問題視したことにマレーシアが猛反発し、激しく対立したため、マレーシア側の要請で協議が12年から凍結されていた。

フォンデアライエン委員長は声明で、世界で地政学的緊張が高まり、貿易が不安定となるリスクが増大する中、EUとマレーシアがFTAを締結することの意義は大きいと指摘。人権、環境保護に配慮しながら協議を進めていく意向を表明した。

アンワル首相はFTAによってEUによるマレーシアの製造業、グリーンエネルギー分野への投資が拡大し、EUへの電子製品、科学機器、パーム油などの輸出が増えることへの期待感を示した。

<AI22548>

## 仏など7カ国の財政健全化計画、EU財務相理が承認

欧州連合（EU）は1月21日に開いた財務相理事会で、過剰な財政赤字を抱え、EUの財政規律に違反しているフランス、イタリアなど7カ国の財政健全化計画を承認した。

EUの財政規律を定めた安定成長協定では、各国に単年の財政赤字を国内総生産（GDP）比3%以内に抑えることを義務付けている。順守できない国は制裁の第1段階となる過剰赤字是正手続きが適用され、財政改革が求められる。

財政規律に違反しているフランス、イタリア、ベルギー、ポーランド、ハンガリー、スロバキア、マルタの7カ国は2024年7月、EUから過剰赤字是正手続きを発動され、財政改善を求められている。

欧州委員会は対象各国と財政健全化策で合意し、これを承認するよう財務相理事会に勧告していた。理事会はこれを受け入れ、7カ国に歳出抑制によって中期で財政規律違反状態から抜け出すよう勧告した。各国は規律順守の期限、毎年の歳出の上限が設けられた。

ドイツと並ぶEUの大国でありながら、財政で問題児となっているフランスは当初、24年にGDP比6.1%だった赤字を25年にGDP比5%に削減し、その後も段階的に健全化を進めて29年までに3%まで削減することで欧州委と合意していた。しかし、緊縮策が議会の反発を招き、当時のバルニエ首相が退陣に追い込まれた経緯がある。

12月に発足したバイル首相率いる新内閣は、25年の赤字削減をGDP比5.4%に緩める方針を打ち出しているものの、29年までの財政規律順守は継承したことから、財務相理事会の承認を得た。

その他の主要国では、イタリアが26年までに赤字を許容範囲内の3%まで削減することを求められる。

<AI22549>



## テクノロジー・トレンド

技術大国ドイツを中心に  
注目の技術情報を集めています。

### トヨタと仏 2 社、新しい水素充填システムの開発で協力

トヨタの欧州統括会社トヨタ・モーター・ヨーロッパ (TME) は 1 月 28 日、水素充填ステーションの設計・建設を事業とする仏 HRS、仏電力大手のエンジーと新しい水素充填システムの開発で協力すると発表した。欧州連合 (EU) が資金支援するプロジェクト「RHeaDHy」の一環として、小型、大型の燃料電池車の両方に短時間で水素燃料を充填することができる新技術「ツイン・ミッド・フロー (Twin-Mid-Flow)」の開発で協力する。

「ツイン・ミッド・フロー」技術は、高い流量のノズルを使用することで同じ設備を使用して、小型、大型の燃料電池車の両方に短時間で水素燃料を充填することができる。これにより、水素充填ステーションに異なるタイプのポンプを用意する必要がなくなり、コストを大幅に削減することができる。

具体的には、大型商用車は 10 分以内、小型商用車は 5 分以内に、水素燃料を補給することができる。40 トントラックの場合、走行距離 600 キロメートル分の水素燃料を 8 分で、900 キロメートル分であれば 12 分で充填することができる。

今回の協力において、トヨタは、「ツイン・ミッド・フロー」技術を搭載したテストベンチとトラックを提供する。HRS とエンジーは、互換性のある水素充填ステーションを開発する。2025 年第 4 四半期から試験を開始する予定。

<AI22550>

ヨーロッパで

## ビジネスパートナーを探したい…

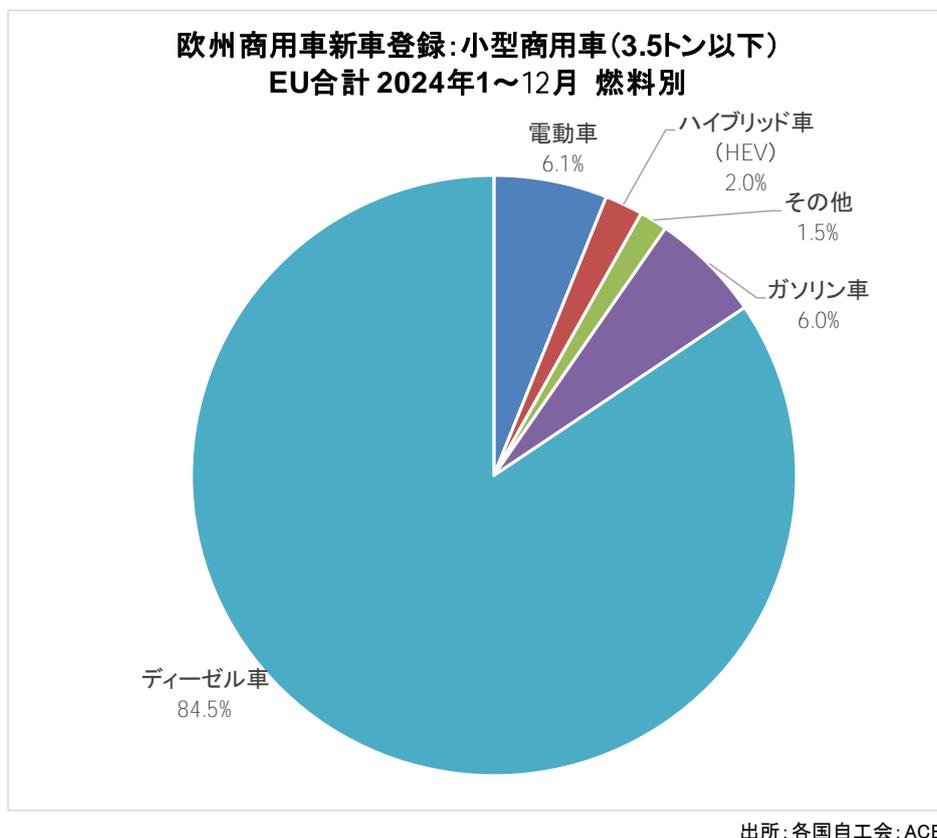


》》》 FBCにお任せください！

私たちはロングリスト・ショートリスト調査を通して  
みなさまの欧州戦略を強力にサポートしています  
欧州に攻め込むための最新の営業リストを作成します

# 目で見える欧州自動車産業ニュース

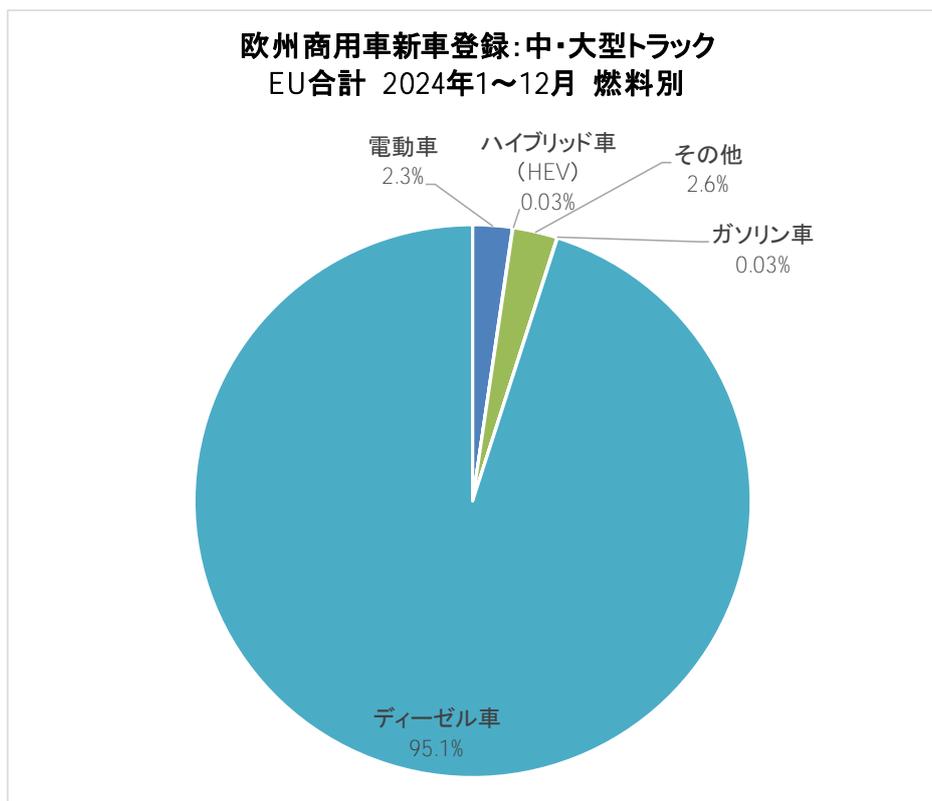
## 欧州商用車販売、2024年1～12月：燃料別



欧州自動車工業会(ACEA)によると、バン(小型商用車)の燃料別の登録台数は、主流のディーゼル車が前年比 10.5%増の 134 万 3 台となり、市場シェアを 84.5%(2023 年通期：82.7%)に拡大した。ガソリン車は、前年比 3.0%増の 9 万 4,466 台で、市場シェアは前年並みの 6.0%(2023 年通期：6.3%)だった。電動車は、前年比 9.1%減の 9 万 6,159 台で、市場シェアは 6.1%(2023 年通期：7.2%)に縮小した。ハイブリッド車は、前年比 4.8%減の 3 万 2,282 台で、市場シェアは 2.0%(2023 年通期：2.3%)にとどまっている。

トラック(中・大型合計)は、ディーゼル車が前年比 6.2%減の 31 万 1,718 台で、市場シェアは 95.1%(2023 年通期：95%)だった。電動車は、前年比 4.6%減の 7,516 台で、市場シェアは前年並みの 2.3%(2023 年通期：2.3%)だった。

バスは、電動車が前年比 26.8%増の 6,587 台と大幅に伸び、市場シェアを 18.5%(2023 年通期：15.9%)に拡大した。ハイブリッド車は前年比 16.1%減の 3,486 台で、市場シェアは 9.8%(2023 年通期：12.8%)だった。ディーゼル車は、前年比 11.1%増の 2 万 2,467 台で、市場シェアは 1 パーセントポイント増の 63.1%(2023 年通期：62.1%)に拡大した。



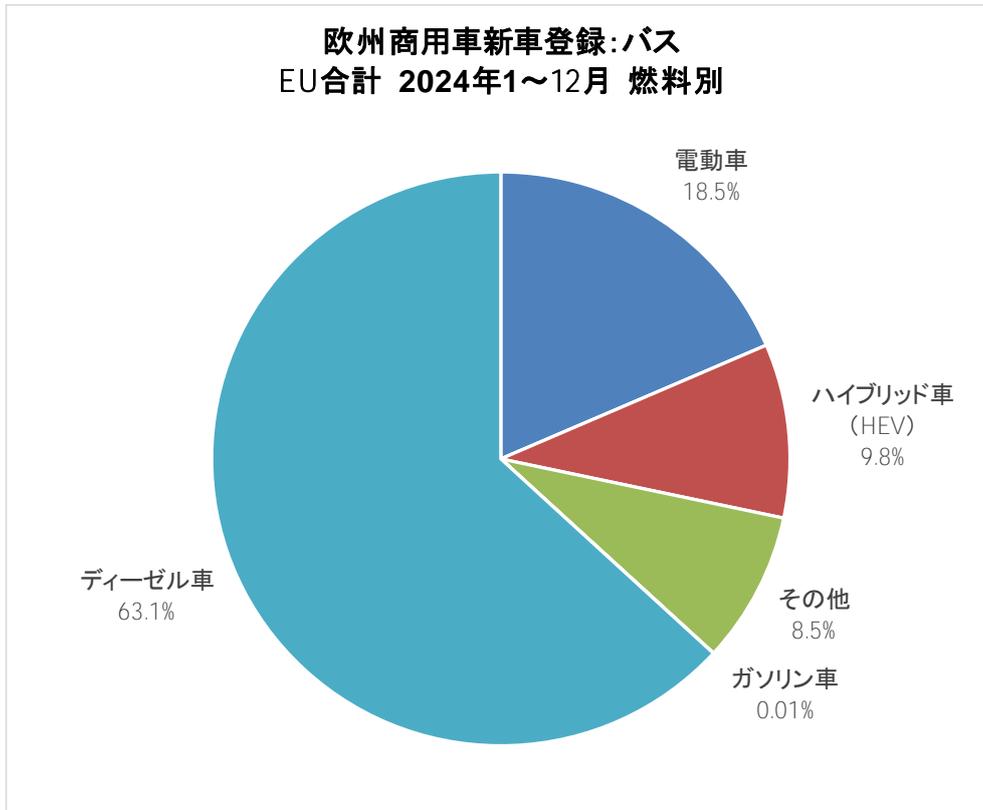
出所: 各国自工会; ACEA

## ■企業名索引

今週号のニュースで取り上げられた主な企業を対象としています。

### Index

企業名	掲載頁		
Autoneum.....	13	Seat .....	12
ContiTech.....	13	SYMBIO .....	15
Fiat .....	12	Toyota.....	15,18
Hyundai Motor.....	10	Vauxhall .....	10
Jaguar Land Rover .....	11		



出所: 各国自工会; ACEA

<AI22551>

## ドイツ語での 情報収集・検索でお困りではありませんか？

FBCの「インフォメーション・ブローカーサービス」は、クライアントが必要とする情報迅速に探し出す情報検索サービスです。私たちは長年の調査業務ノウハウを活用して広範囲な情報検索を提供しています。



プレスリリース



情報検索



問合せや訪問予約の  
アレンジメント

検索料金は**250**ユーロ+VATから

お問い合わせ: FBCカスタマーサポート +49-(0)69-5480950 [info@fbc.de](mailto:info@fbc.de)